

## イラストA

担当教員 今野樹里恵

2024/05/07(火)-05/18(土)

受講アトリエ [701]

9:20-12:30/13:30-16:30

## 授業内容

文学にまつわる挿絵を連作（サイズに応じて3～5カット）で制作する。装丁や挿絵などで既存イメージができていない文学を、自分だけの表現方法で再構成すること。更に連作で制作することによって世界観を確固たるものとして表現することを学ぶ。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	5月7日	火		造形演習	○	オリエンテーション	
2	5月8日	水		制作		制作	
3	5月9日	木		紙漉き研修			
4	5月10日	金		制作	○	制作	
5	5月11日	土		版画講座		制作	
6	5月12日	日					
7	5月13日	月		健康診断			
8	5月14日	火		制作	○	制作	
9	5月15日	水		制作		制作	
10	5月16日	木	○	制作	○	制作	
11	5月17日	金		制作		制作	
12	5月18日	土		版画講座	○	講評	

## 学習目標

テーマに基づくイラストレーション制作を修得します。一つの世界観で一連の作品を制作すること、自分の内面を表現するだけでなく外的要因（文学）に応じて制作をすることで、既存の表現に囚われずに新しい自分だけの表現を目指します。

## 予習・準備物

学生準備物：ストーリー性のある文学（どうしても見つからない場合はなくても良い、授業中に相談に応じる）

制作に必要な画材

## 注意事項

制作に必要な画材は自分で用意してもらうことになります。自分の表現を発揮できる支持体や描画材を選び、自分の世界観を遺憾なく発揮し制作をしてください。ストーリーに基づき、3カット以上は必ず制作しましょう。仕上げ切ることが重要です。

## 評価方法

課題提出と授業態度で評価する。

## 2年 ファインアート科

# 造形演習

担当教員 船井美佐

受講アトリエ 【502】

2024/04/16(火)- 07/09(火)  
9:20-10:50/11:00-12:30

### 授業内容

絵画について、古今東西の伝統的な様式から近現代までのあり方を比較しながら学ぶことで、現代のまだ見ぬ新しい絵画表現について考えるための手掛かりとする。毎回、レクチャーの後に、実際の画材や技法を体験しドローイングや課題を制作する。

- 「絵の中」何をどう描くか？ものの捉え方や構図など、対象を2次元に表す方法の様々なことについて。
  - 「絵の表面」何を使って描くか？絵具や絵肌、支持体など物質としての絵画のあり方の変化について。
  - 「絵の外側」どのように展示するか？作品と人と空間の関係の多様性について。
- 最後にそれまでの授業の制作物で空間を構成し、各自インスタレーションとして発表する。"

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考・準備物
1	4月16日	火	○	オリエンテーションとアーティストトーク 自己紹介、自分の作品について話す練習。			自己紹介カードとこれまで描いた中で一番気に入っている自分の作品を持ってくる
2	4月23日	火	○	「イメージを形にする①言葉とコンセプト」 世界で活躍する現代アーティスト、オノヨーコ、草間彌生など。			筆記用具、 絵具セット水彩またはアクリルなど (画用紙カード)
3	5月7日	火	○	「イメージを形にする②ドローイング」 現代のさまざまな絵画表現、抽象と具象			鉛筆、絵具セット、(紙)
4	5月21日	火	○	「平面・もののとらえ方1」 西洋絵画の始まり、ルネッサンス、遠近法、光と影によるデッサン			鉛筆デッサンの道具、(B3パネル、画用紙)
5	5月28日	火	○	「平面・もののとらえ方2」 東洋絵画のあり方、線と面による表現、デフォルメ、構図			(墨・筆・絵具のセット、和紙)
6	6月4日	火	○	「構図と色彩の基本」 近代化による絵画の変化、マネ、モネ、ゴッホ、ピカソ、マチスなど			鉛筆(アクリル絵具セット、 B3パネル、画用紙)
7	6月11日	火	○	「抽象の始まりと色彩構成」 抽象絵画の始まり、カンディンスキー、モンドリアンなど			前回と同じ
8	6月18日	火	○	「身体・物質・偶然性」 第二次大戦後の新しい表現、ポロック、ロスコ、具体、アンフォルメルなど			(板段ボール、アクリル絵具セット)
9	6月25日	火	○	「空間構成」70年代～ポップアート、コンセプチュアルアート、 ソルウィット、フランク・ステラ、リヒターなど			(同上、ハサミ、段ボールカッター)
10	7月2日	水	○	「空間構成」80・90年代～ニューペインティング、シュミレーションイズム、 キーパー、デミアンハースト、森村泰昌、村上隆、奈良美智など			(同上、ハサミ、段ボールカッター、 布ガムテープ)
11	7月9日	木	○	講評会 ドローイングを壁面に構成して作品を完成させる。			仕上げた作品を壁面に配置して構成する。 (布ガムテープ)

### 学習目標

アーティストとして制作していく上での基礎となる力や美術の知識を学ぶ。古今東西の絵画にまつわる様式や表現の歴史について知り、さまざまな絵画様式を体験する。絵画の遍歴や特質を知ること、美術の歴史の延長線上にある現代の自分の位置について考える。今後、自分だけの新しい表現様式を作っていくための基礎知識を培う。

### 予習・準備物

この授業は、毎回現代アートの美術史の基礎知識をレクチャーします。時代の順に様々な作品を紹介していきます。そして、その内容と呼应した実技の課題に実際に取り組みます。1回につき1点の課題作品を仕上げ毎授業の終わりに提出します。

### 注意事項

美術史についてのレクチャーの後、その内容とリンクした課題に取り組みます。毎回事なるテーマで美術史上の名画の作品鑑賞をして、そのテーマに合わせた制作をします。現代まで順番に時代を追って体験していく内容となっているので、欠席の無いように。出席できない場合にはその回の実技課題の内容、または参考図書等を紹介するのでそれを読んでレポートや制作物を提出すること。制作の進行状況に合わせて上記の日程と内容はアレンジすることがあります。

### 評価方法

導入の講義を聞かないと学習できないため出席を重視します。各回のレクチャーの理解度、課題の提出、をそれぞれ各回2~4ポイントとして点数を合計します。さらに、取り組む姿勢と、講評での最終課題の評価を加算して合計を出します。満点は合計100点。欠席した場合は、レクチャーはその回で取り上げたキーワードについて自分で調べてレポートにまとめ、感想を書いて提出すること、課題は仕上げ後日提出すること、によって加算します。

## 版画講座

担当教員 今井圭介  
受講アトリエ [502]

2024/04/11(土)- 2024/07/13(土)  
11:00-12:30

## 授業内容

まずは様々な版画がどのように展開をしたのかから始め、次に日本を中心に浮世絵版画及び近・現代版画までを実際の作品や資料、画像などからわかりやすく解説していきます。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月11日	木	○	版画よもやま話①(版の表現)		実技カリキュラム	
2	4月20日	土	○	版画よもやま話②(版画の技法)		実技カリキュラム	
3	5月11日	土	○	版画よもやま話③(素材と用語)		実技カリキュラム	
4	5月18日	土	○	浮世絵版画①浮世絵版画のはじまり		実技カリキュラム	
5	5月25日	土	○	浮世絵版画②技法と制作システム		実技カリキュラム	
6	6月1日	土	○	日本の腐蝕銅版画と司馬江漢		実技カリキュラム	
7	6月8日	土	○	日本開国! 横浜絵と開化絵		実技カリキュラム	
8	6月15日	土	○	光線画の浮世絵師・小林清親		実技カリキュラム	
9	6月22日	土	○	日本の近代版画と創作版画運動		実技カリキュラム	
10	6月29日	土	○	詩と版画		実技カリキュラム	
11	7月6日	土	○	東京国際版画ビエンナーレと現代版画		実技カリキュラム	
12	7月13日	土	○	時代の寵児・池田満寿夫		実技カリキュラム	

## 学習目標

「版画」は明治の後半あたりから使われ始めた言葉でいわゆる造語です。そこには版にも独自の表現があるのだ、版画はすなわち版で描く画(え)だという意識がうかがえます。こうした版画について歴史的な知識を学び、より興味をもち、関心をたかめ、理解を深めていくことを目標にします。

## 予習・準備物

日頃より、美術館や博物館、ギャラリーなどをまわり、版画を中心に鑑賞を行ってください。また、授業では毎回資料を配布するためファイルができるように準備してください。

## 注意事項

講義で配布された資料をファイルにしたら毎回持参してください。また、興味や関心をもった作家、作品、事柄などはその後自身でも調べたり、研究をするように心がけてください。

## 評価方法

授業出席数、レポート